

# 全日本学生馬術大会 2024

## 第74回全日本学生賞典障害馬術競技大会 第67回全日本学生賞典馬場馬術競技大会 第67回全日本学生賞典総合馬術競技大会

- 1 主催 一般社団法人全日本学生馬術連盟
- 2 共催 一般社団法人大学スポーツ協会
- 3 後援 農林水産省 アイルランド大使館 日本中央競馬会  
地方競馬全国協会 世田谷区 日本放送協会 毎日新聞社  
報知新聞社 (予定)
- 4 協賛 (公財) 全国乗馬倶楽部振興協会 株式会社日本馬事普及  
日本農産工業株式会社 (一財) 馬事畜産会館  
タフロック・ジャパン (株) 乗馬クラブクレイン  
日本社会人団体馬術連盟  
Rubes japan 株式会社 C3. Photography (有) 東明工芸  
(一財) グリーンチャンネル NPO 法人 日本乗馬普及協会 (予定)
- 5 協力 関東学生馬術協会
- 6 期日 令和6年10月30日(水)～11月4日(月・祝)
- 7 会場 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀2-1-1  
JRA 日本中央競馬会 馬事公苑
- 8 実施内容 全日本学生馬術競技会規程Ⅰ、Ⅱ及びⅢを適用する。
- 9 日程  
10月27日(日) 午後より入厩(以降各出場予定競技実施前日の入厩審査締切時間まで)  
10月30日(水) トレーニング競技(障害)、開会式  
10月31日(木) 賞典障害馬術競技大会(第1ラウンド)、M-D 障害馬術競技大会  
11月1日(金) 賞典障害馬術競技大会(第2ラウンド)、第3課目A 馬場馬術競技大会  
賞典総合馬術競技大会(インスペクション)  
11月2日(土) 賞典馬場馬術競技大会(団体)、賞典総合馬術競技大会(馬場馬術競技)  
11月3日(日) 賞典総合馬術競技大会(クロスカンントリー競技)  
賞典馬場馬術競技大会(個人決勝)  
11月4日(月・祝) 賞典総合馬術競技大会(障害馬術競技)、閉会式

1 0 競技会規程 一般社団法人全日本学生馬術連盟競技会規程による。

ただし、

- ・賞典馬場馬術競技大会、第 3 課目 A 馬場馬術競技大会に出場する際の、サドルパッド（鞍下ゼッケン）の色は自由とする。
- ・クロスカントリー競技に出場する際にはボディプロテクターの着用、メディカルカードの携帯を義務づけ、エアーベストの使用はこれを推奨する。ボディプロテクターがない場合は、バックガードとエアーベスト、両方の着用を義務づける（2024 年度までの経過措置）。
- ・総合馬術競技会：クロスカントリー競技・障害馬術競技は日本馬術連盟公認競技 EV95 に準ずる。
- ・なお、第 14 条、第 19 条、第 26 条（大会期間中の騎乗者制限）については、規程通りとする。
- ・MD 障害は JEF 規程 274 条 2(特別二段階)で行なう。

1 1 参加申込 各地区連盟（協会）は、事前に電子データにて提出の上、必要な書類を添付して当連盟に紙媒体で申し込むこと。尚、各参加校は、規程に基づいて各競技に割り当てられた人馬の数の、それぞれ 2 倍まで登録することができる。

一次締め切り：令和 6 年 9 月 24 日（火）

※但し、登録内容の変更については、10 月 3 日（木）まで認める。

最終締め切り：令和 6 年 10 月 3 日（木）（紙媒体含み、必着）

【・一次締切(大学→各地区幹事長)・二次締切(地区幹事長→全日本学生馬術連盟)】

(1) 各種目 1 人馬あたり 6,000 円とする。

参加料は、令和 6 年 10 月 3 日（木）までに各参加校にて銀行振込にて納入すること。なお、納入後の返金には応じない。

※厩舎使用料及び納入方法については後日連絡する。

**振込先：三井住友銀行 京橋支店 普通 8609354**

**一般社団法人全日本学生馬術連盟 理事長 橋本 茂**

(2) トレーニング競技の参加料は、1 走行あたり 6,000 円とする。

参加料は、後日速やかに銀行振込にて、上記振込先に納入のこと。

(3) 賞典馬場馬術競技大会において、個人決勝（キュア）に出場する意思のある選手は、当連盟ホームページから録音利用明細書をダウンロードし、

令和 6 年 10 月 3 日（木）までに、直接、当連盟にメールにて提出すること。また、楽曲を録音した CD を、入厩時に大会本部に提出のこと。楽曲使用の費用（年間で一律 8,000 円）は競技会終了後に JASRAC の審査ののち、あらためて該当者に請求する。

※録音利用明細書、および音源の CD を期限内に提出しない場合、個人決勝に出場できないので、留意のこと。

1 2 トレーニング競技について

(1) トレーニング競技はトレーニング競技 I（高さ 110-130cm）、トレーニング競技 II（高さ 90-110cm）の 2 種目とし、トレーニング競技 I を先に実施する。本競技への参加及びクラス選択は任意である。

(2) 本競技には障害馬術競技、及び総合馬術競技出場予定馬のみが出場できる。

(3) トレーニング競技のエントリーは前日の打ち合わせ会開始 30 分前までに大会本部の指定する宛先まで電子データにて提出のこと。提出方法は別途連絡する。

(4) 出場選手は、全日本学生馬術連盟登録学生のみとする。

(5) 馬匹は、本競技 I・II を通して、1 頭につき 2 走行まで出場できる。2 走行を超え

ない範囲で、走行後の追加・変更（クラスの変更、選手の変更）を認める。追加においては選手の乗り替わりを可とする。前日にエントリーしていない馬匹を追加することはできない。

- (6) 実施方法：走行開始許可のベルが鳴った後、最初の障害を飛越（アタック）してから60秒間飛越可とする。ベルから45秒以内に最初の障害を飛越（アタック）しない場合は自動スタートとする。飛越の順番及び方向は任意であるが、標旗が設置されている障害はその方向に従うこと。飛越および拒否に伴い落下させた障害は原則、復旧・移動はしない。落馬・馬の転倒・逆標旗飛越・その他審判団が危険走行を認めた場合は、走行終了となる。
- (7) 意図的あるいは重大な不注意による諸規則の侵害や違反行為があった場合、審判団の判断によりその後の競技に出場停止処分とする場合がある。特に走行終了のベルが鳴った場合は速やかに走行を終了すること。アプローチに入っていた場合を除き、これに従わない場合は出場を取り消す。

### 1.3 防疫・入厩・退厩 ※別紙【入厩にあたっての注意】参照の事

- (1) 10月27日（日）午後入厩開始  
以降、各出場予定競技実施前日の入厩審査締切時間までに入厩すること。  
但し、総合競技出場馬については、11/1 インспекション開始前までに入厩審査を完了していること。
- (2) 乗馬登録証・健康手帳を携帯し、入厩後速やかに大会本部に提出すること。  
（なお、28日、29日は馬事公苑の休苑日であるため、馬事公苑診療所の入厩チェック対応時間は午前中のみとなる。当日、馬事公苑での運動を希望する場合は、11時までに健康手帳を大会本部に提出すること）
- (3) 予備馬は、総合馬術競技会参加大学のみ、各大学最大1頭入厩させることができる。これ以外の予備馬の入厩は認めない。
- (4) 入厩する馬匹はインフルエンザの予防接種が適正に行なわれていること。
- (5) 馬匹について、入厩時よりの体温チェックを行い、チェック表に記録すること。  
（各大学にて馬匹用体温計を持参のこと）
- (6) **【JRA 馬事公苑入厩条件】**を満たしていること  
（リンク先：馬事公苑利用心得にて最新の情報を確認する事）  
<https://jra.jp/facilities/bajikouen/taikai/>
- (7) 退厩は各競技終了後可能とするが、競技実施中は制限することがあるので大会本部の指示に従うこと。

※11月5日（火）朝9時までに完全退厩のこと。

### 1.4 その他

- (1) 当連盟は、参加者の宿舎の斡旋は行わない。
- (2) 参加大学は事故のないように十分に注意すること。本大会中の人馬の事故に対して主催者は応急処置を講ずるが、その責は負わない。
- (3) 馬付添人の宿舎は、各大学1名まで馬事公苑内宿泊施設が利用可能。  
希望する大学はエントリーの際申し出る事。  
利用料金はリネンクリーニング代として1人1,705円（税込み）で、厩舎使用料と共に後日請求する。  
※利用に関しては別紙【施設利用者心得】を必ず確認する事。

以上